



メタバースの投資テーマ③

グローバル仮想世界株式戦略ファンド
愛称：フューチャーメタバース
追加型投信/内外/株式

▶ 本レポートでは、前回(5月26日発行)に続き、足元の基準価額の動向に加え、当ファンド主要投資対象のグローバルメタバースファンド(円建て、ヘッジなしクラス)における投資テーマと関連銘柄についてご紹介いたします。

足元の基準価額の推移と投資環境

当ファンドの6月24日現在の基準価額は1万口当たり8,088円となりました。設定(2022年3月22日)来の基準価額の推移を見ますと、堅調スタート後、4月中旬から下落基調を辿り、一時8,000円を割り込む場面もありました。

足元の投資環境を見ますと、インフレ抑制のため米国中心に**アグレッシブな金融引き締め**が行われる中、急ピッチな金利上昇が景況感に影を落とし始めています。**金融当局がインフレを抑え込みつつ経済をソフトランディング(軟着陸)出来るか**、予断を許さない状況にあります。

ただ、その中で原油や鉄鉱石、石炭など高騰していた国際商品価格が下落に転じるなど高インフレにピークアウトの兆しが見え始めており、**株式市場に吹き荒れていた逆風は次第に収まってくる**と考えます。

[図表1. 設定来の基準価額の推移]



時代の号砲を鳴らしたメタ・プラットフォームズ

次世代SNSプラットフォーム「ホライゾン・ワールドズ」

2021年12月、米国のメタ・プラットフォームズは、メタバースを基盤とする次世代SNSプラットフォーム「ホライゾン・ワールドズ」を一般公開しました。仮想空間で友達と交流することを目的とするプラットフォームで、「ホライゾン・ワールドズ」内のツールを使って、簡単に3Dの仮想空間やゲームを構築できる点が特徴です。現在、米国・カナダ・英国でサービスが利用可能であり、すでに**30万人以上のユーザーが利用**しています。

社名を「フェイスブック」から「メタ・プラットフォームズ」へ2021年に変更し、メタバース時代の号砲を鳴らした同社が、満を持してリリースしたのが「ホライゾン・ワールドズ」です。日本におけるサービス開始は現状未定ですが、次ページでは、「ホライゾン・ワールドズ」の概要を確認しながら、同社が描く**メタバースの近未来**を俯瞰してみたいと思います。

HMDを装着し仮想世界に入場



※上記はイメージ図です。

<本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡しますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はおお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

拡張するメタ・プラットフォームズの仮想世界

「ホライゾン・ワールドズ」は、メタ・プラットフォームズが提供するVRヘッドセット「メタ・クエスト」を装着してバーチャル空間に入場し、アバター（分身）を介して他のユーザーとの会話やゲームを楽しむサービスです。

「ホライゾン・ワールドズ」の特徴

従来のSNS（ソーシャル・ネットワーク・サービス）と比べて利用目的自体はそれほど差がないものの、ユーザーが自分たちで仮想世界やゲームを構築できる「**クリエイション機能**」が充実している点が特徴です。

仮想空間という新しさはあるものの、SNSである以上は「人が常に集まる」場所を提供しないと、サービスとして長く存続できません。空間に入場する度に、ユーザー達が作った新たなコンテンツがあることは大きな魅力であり、ユーザーが何度も訪れる好循環が生まれます。

「ホライゾン・ワールドズ」の拡張機能、「ホライゾン・ホーム」

2022年6月、「ホライゾン・ワールドズ」の拡張機能として、「**ホライゾン・ホーム**」の提供を開始することが発表されました。ユーザーは、**仮想空間上に「自宅」を持ち、友達を招いたり、相手の家を訪問したりすることができる**ようになります。クリエイターはオリジナルのホームをデザインし、販売することが出来るようになります。またそこに置くアイテム等の販売も可能になります。このように、**仮想空間上の「アイテム」や「資産」が価値を持ち、経済圏として発展してゆく**ことがメタバースの大きな特徴です。

ビジネス向けアプリケーション、「ホライゾン・ワークルームス」

また、同社は「**ホライゾン・ワークルームス**」というビジネス向けのアプリケーションについても、ベータ版（正式リリース前のテスト版）の提供を開始しています。**アバターとしてバーチャル会議室に入場することで、会議室に集まって対面で話すような自然なコミュニケーションが可能になると**言われています。

さて、このように同社のメタバース・サービスは、様々な方向への拡張が計画されています。もうお気づきかと思いますが、同社の社名「メタ・プラットフォームズ」、サービス名「ホライゾン・ワールドズ」、「ホライゾン・ワークルームス」、全て英語の**複数形**で表現されています。単一のプラットフォームではなく、**様々な領域にメタバースを展開する**、そんな同社の狙いが反映されていると言えるでしょう。



※上記はイメージ図です。

メタバース開発競争時代

メタ・プラットフォームズが展開するメタバース・サービスの概要について見てきましたが、メタバースでのプラットフォーム構築を狙う企業は同社だけではありません。例えば、「**GAFAM（米国の大手IT企業Google、Apple、Facebook、Amazon.com、Microsoftを指す）**」の中では、メタ・プラットフォームズと共に**マイクロソフト**がメタバース推進に積極的であり、「**マイクロソフト・メッシュ**」という**業務用のメタバース・プラットフォーム**の提供を開始しています。多くのサービス・プロバイダーがメタバース・プラットフォームを強化してゆく中で、メタバース関連企業の業績への追い風が強まると考えています。

＜本資料に関してご留意いただきたい事項＞

■本資料は情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書（交付目論見書）をお渡しますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

投資先ファンドにおけるプラットフォーマーの投資銘柄例のご紹介

メタ・プラットフォームズ（米国、メタ・サービス関連）

メタバース

×

SNS

業種：メディア・娯楽

(GICS産業サブグループ：メディア・娯楽)

【運用チームによる銘柄選択の主なポイント】

◎ 企業概要

- 米国のSNS大手。月間アクティブユーザー数が**29億人**に上るSNSサービス「フェイスブック」を運営。傘下には画像共有アプリの「インスタグラム」、メッセージアプリの「ワッツアップ」等複数のプラットフォームを運営。
- 2021年、社名を「メタ・プラットフォームズ」に変更。2014年、同社はVR（仮想現実）ヘッドセットの米オキュラスVRを買収するなど、着々とメタバース戦略を準備。いよいよ**全社的にメタバースに向けて経営の舵を切り、更なる成長を描く。**

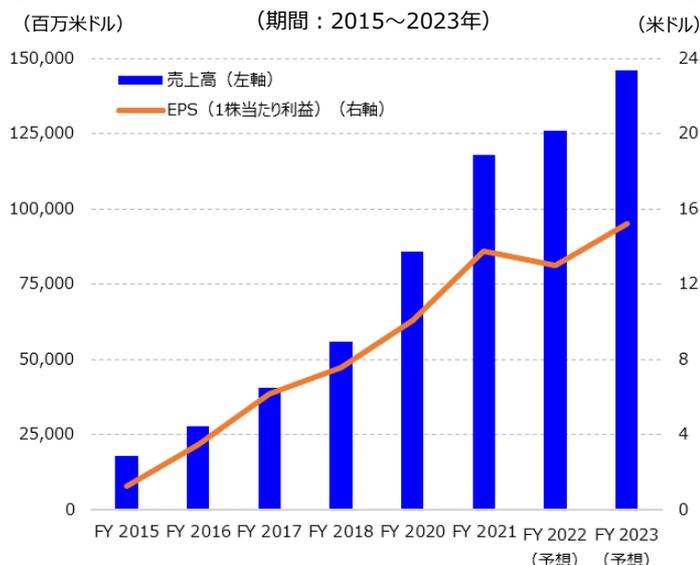
[図表2.メタ・プラットフォームズの株価推移]



◎ 投資のポイント

- 3Dメタバースの可能性にいち早く着目し、買収や開発投資を続けてきた同社は、**メタバース時代に最大級のプラットフォーマーとなる可能性がある。**
- 足元では、金利上昇に端を発したグロース（成長）株からの資金流出を受け株価が軟調に推移。同社の成長性やキャッシュフロー創出力を勘案すると、**足元の株価は割安感が強く、投資魅力が高いと判断している。**

[図表3.メタ・プラットフォームズの売上高・EPSの推移]



(出所)Bloombergデータを基に岡三アセットマネジメント作成

※ 上記の個別銘柄はあくまで説明のための例示であり、投資先ファンドの組入れを示唆・保証するものではありません。また、特定銘柄の売買等の推奨、価格等の上昇や下落を示唆するものではありません。

<作成：運用本部>

<本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡しますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

グローバル仮想世界株式戦略ファンド（愛称 フューチャーメタバース）に関する留意事項

【岡三アセットマネジメントについて】

商号：岡三アセットマネジメント株式会社

岡三アセットマネジメント株式会社は、金融商品取引業者として投資運用業、投資助言・代理業および第二種金融商品取引業を営んでいます。登録番号は、関東財務局長(金商)第370号で、一般社団法人投資信託協会および一般社団法人日本投資顧問業協会に加入しています。

【投資リスク】

- 投資者の皆様は投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。投資信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者の皆様へ帰属します。ファンドは、国内外の株式等値動きのある有価証券等に投資しますので、組入れた有価証券等の価格の下落等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替相場の変動により損失を被ることがあります。
- ファンドの主な基準価額の変動要因としては、「株価変動リスク」、「為替変動リスク」、「信用リスク」、「流動性リスク」があります。その他の変動要因としては「カントリーリスク」があります。

※基準価額の変動要因は上記のリスクに限定されるものではありません。

【その他の留意点】

- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリングオフ)の適用はありません。
- 投資信託は預金商品、保険商品ではなく、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関が取扱う投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。投資信託の設定・運用は投資信託委託会社が行います。
- ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要性が生じた場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金申込の受付が中止となる可能性、換金代金の支払が遅延する可能性があります。
- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があるため、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。また、投資者の購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上りが小さかった場合も同様です。
- 投資対象とする投資信託証券にかかる購入・換金申込みの受付の中止および取消、取引所における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金申込みの受付を中止することや、すでに受付けた購入・換金申込みの受付を取消することがあります。
- 詳しくは、「投資信託説明書(交付目論見書)」の「投資リスク」をご参照ください。

【お客様にご負担いただく費用】

<お客様が直接的に負担する費用>

- 購入時
 - 購入時手数料：購入金額(購入価額×購入口数)×上限3.3% (税抜3.0%)
詳しくは販売会社にご確認ください。
- 換金時
 - 換金手数料：ありません。
 - 信託財産留保額：ありません。

<お客様が信託財産で間接的に負担する費用>

- 保有期間中
 - 運用管理費用(信託報酬)
 - ：純資産総額×年率1.298%(税抜1.18%)
 - 運用管理費用(信託報酬)の実質的な負担
 - ：純資産総額×年率1.948%程度
 - 実質的な負担とは、ファンドが投資対象とする投資信託証券の信託報酬を含めた報酬です。なお、実質的な運用管理費用(信託報酬)は目安であり、投資信託証券の実際の組入比率により変動します。
 - その他費用・手数料
 - 監査費用：純資産総額×年率0.0132% (税抜0.012%)
 - 有価証券等の売買に係る売買委託手数料、投資信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用を信託財産でご負担いただきます。また、投資対象とする投資信託証券に係る前記の費用等、海外における資産の保管等に要する費用を間接的にご負担いただきます。(監査費用を除くその他費用・手数料は、運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことはできません。)
 - お客様にご負担いただく費用につきましては、運用状況等により変動する費用があることから、事前に合計金額もしくはその上限額またはこれらの計算方法を示すことはできません。
 - 詳しくは、「投資信託説明書(交付目論見書)」の「手続・手数料等」をご参照ください。

グローバル仮想世界株式戦略ファンド（愛称 フューチャーメタバース）
販売会社一覧

受益権の募集の取扱い、投資信託説明書(交付目論見書)、投資信託説明書(請求目論見書)及び運用報告書の交付の取扱い、解約請求の受付、買取請求の受付・実行、収益分配金、償還金及び解約金の支払事務等を行います。なお、販売会社には取次証券会社が含まれる場合があります。

(2022年6月27日現在)

商号	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
(金融商品取引業者)					
岡三証券株式会社	関東財務局長(金商)第53号	○	○	○	○
岡三にいがた証券株式会社	関東財務局長(金商)第169号	○			
寿証券株式会社	東海財務局長(金商)第7号	○			
三縁証券株式会社	東海財務局長(金商)第22号	○			
株式会社証券ジャパン	関東財務局長(金商)第170号	○			
JIA証券株式会社	関東財務局長(金商)第2444号	○			○
野畑証券株式会社	東海財務局長(金商)第18号	○			○

※岡三証券株式会社は、一般社団法人日本暗号資産取引業協会にも加入しております。

<本資料に関するお問い合わせ先>

 フリーダイヤル **0120-048-214** (9:00~17:00 土・日・祝祭日・当社休業日を除く)